

青森県立自然ふれあいセンターリニューアルの概要

1 リニューアルの経緯

青森県立自然ふれあいセンターは、県民の皆様が、自然とふれあい、自然を大切にする心を育てていただけるよう、青森県が平成4年7月3日、県民の森梵珠山の麓に設置した施設です。

このセンターは県民の森とともに、多くの方々に親しまれてきましたが、開館から約30年が経過したことから、時代の変化に合わせ、子供とその家族を始めとする県民の皆様が、自然への理解を更に深められるよう、また、センターへの訪問が県民の森、さらには県内各地の自然公園にも足を運んでもらうきっかけとなるよう展示リニューアルを行いました。

リニューアルに当たっては、説明パネルの内容やデザインを刷新するとともに、全体のカラーリングをカラフルにすることにより、生き物の躍動感を表現しました。

2 主なリニューアルの内容

(1) ジオグラコーナー

展示ホール中央に配置されている今回のリニューアルの目玉であり、これからのセンターの新しいシンボルとなるものです。

ジオグラは、ジオラマとグラフィックを掛け合わせたもので、樹木は「ヒノキアスナロ」「ブナ」「サワグルミ」「トチノキ」の4種、動物は「ツキノワグマ」「カモシカ」「ニホンノウサギ」「テン」「アナグマ」など9種を紹介しています。

ステージの周りには「ハンズオン」という実際に触れることができる展示を配置し、小さなお子様でも安心して楽しみながら、自然について学んでいただける内容となっています。

(2) 自然公園紹介コーナー

センターへの訪問が県民の森、さらには県内各地の優れた風景地にも足を運んでいただくきっかけとなるよう、液晶ディスプレイを用いて、四季折々の県内の自然公園の映像をいつでも御覧いただけるようにしています。

< 県内の自然公園 (11箇所) >

- 国立公園・・・十和田八幡平、三陸復興
- 国定公園・・・津軽、下北半島
- 県立自然公園

浅虫夏泊、大鰐碓ヶ関温泉郷、名久井岳、芦野池沼群、黒石温泉郷、岩木高原、津軽白神

(3) 梵珠山の野鳥紹介コーナー

野鳥の写真とバードカービングの展示を充実させるとともに、QRコードで鳴き声が聞けるよう工夫を行っています。

(4) マスコットキャラクター「梵太くん」

展示解説は、梵太(ぼんた)くんというカモシカをモチーフにしたキャラクターに語らせるという趣向で、読みやすくしています。

キャラクターデザインは、NHK「おかあさんといっしょ」のキャラクターデザインを手がけた、城哲也(しろ てつや)氏です。



3 ジオグラコーナー写真

(1) 全景



(2) ハンズオン

【回転してみる】※1種類



【並べてみる】※1種類



【めくってみる】※4種類



【引き上げてみる】※2種類



※ 上記の他【引き出してみる】も2種類あります。